

地域対応施設の機能連携と複合化に向けた取組

1. 取組の考え方

(1) 連携の可能性

諸室の利用状況等に基づき、学校施設を中心に類似する機能間で連携することが考えられます。

なお、貸館利用できる諸室の利用状況については資料 1 のとおりですが、図書館の利用状況については、次のとおりです。

地区図書館全体の利用状況を概観するため、貸出（各館の平均値）の実績について、記載しました。「登録者 1 人当たりの貸出冊数・点数」は約 20 冊・点となっています。また、「貸出利用者数 1 人当たりの貸出冊数・点数」については、約 3 冊・点となっています。さらに、「1 日当たりの貸出利用者数」は、81 人となっています。

貸出等内容	単位	実績
図書・視聴覚資料※ ¹	冊・点	78,035
登録者数※ ¹	人	3,896
登録者 1 人当たりの貸出冊数・点数※ ¹	冊・点／人	20
貸出利用者数※ ²	人	25,733
貸出利用者数 1 人当たりの貸出冊数・点数※ ²	冊・点／人	3
開館日数※ ²	日	317
1 日当たりの貸出利用者数※ ²	人／日	81

※ 1 施設利用状況データ

※ 2 令和 3 年度府中市立図書館事業概要

地域対応施設が保有する機能の連携可能性（抜粋）

諸室・機能施設		和室 ☺	料理講習室 ☺	講堂 ☺☺☺	会議室 ☺☺	小会議 ☺	大広間 ☺☺☺☺	談話室 ☺	健康コーナ ー	ホール 固定160席	遊戯室 ☺☺☺	チャイルド ルーム ☺	工作室 ☺	図書館 ☺	体育室 ☺	武道場 ☺	校庭	庭球場
文化センター		公民館								福祉会館				図書館				
中央	窓口	●	●	●●	●●●	●	●	●●	●	●	●●	●	●	—				
紅葉丘	窓口	●	●	●●	●●●	●	●	●●	●	—	●●	●	●	●				
片町	窓口	●	●	●●	●●●	—	●	●●	●	—	●●	—	●	●				
押立	窓口	●	●	●●	●●●	—	●	●●	●	—	●●	●	●	●				
白糸台	出張所	●	●	「会議室」「多目的室」何れかで 既存の活動が実施できるよう 設備・備品・規模・室数を最適化				●	●	—	●●	●	●	●				
西府	出張所	●	●					●	●	—	●●	●	●	●				
住吉	窓口	●	●					●	●	—	●●	●	●	●				
武蔵台	窓口	●	●					●	●	—	●●	●	●	●				
新町	窓口	●	●	●●	●●●	—	●	●●	●	—	●●	●	●	●				
是政	窓口	●	●	●●	●●●	—	●	●●	●	—	●●	●	●	●				
四谷	窓口	●	●	●●	●●●	—	●	●●	●	—	●●	—	—	●				
小学校		★	★	★				★	★				★	★				
全22校			家庭科室	会議室：13校 多目的室：11校							児童館との集約・共用余地検討 学童クラブ 育成室		図工室	図書室	●		●	
中学校		8校	家庭科室	会議室：8校 多目的室：3校							文化センター会議室機能の稼働には余裕があり、地域 体育館会議室の活動と類似するため、集約余地検討		美術室 技術室	図書室	●	●	●	8校
地域体育館				★							学校体育館・武道場を統合・ 拡充により集約・共用余地検討				●●●●		学校開放・拡充により 集約・共用余地検討	
白糸台体育				●●														
押立体育館				●●														
栄町体育館				●●														
本宿体育館				●●														
四谷体育館				●●														
その他スポーツ施設																		
小柳庭球場																		●●●●●●●●
市民庭球場（郷土の森庭球場）																		●●●●●●●●
武蔵台庭球場																		●●●●●●●●
平和の森庭球場																		●●●●●●●●
寿町庭球場、押立庭球場、四谷庭球場、栄町庭球場、住吉庭球場、若松庭球場、日新第二庭球場、紅葉丘庭球場、西府庭球場																		●●●●●●●●
紅葉丘第二庭球場																		●●●●●●●●

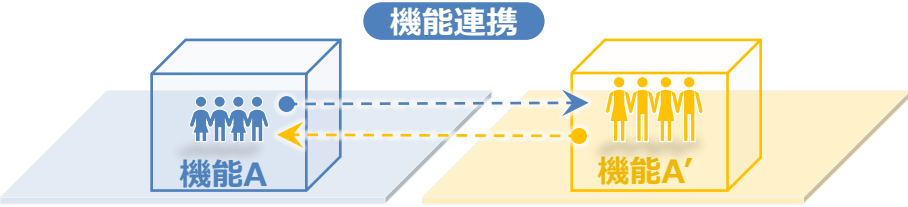
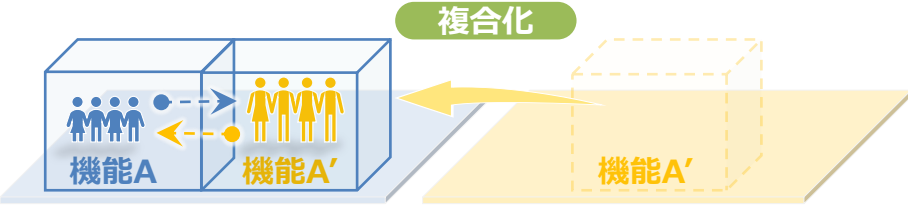
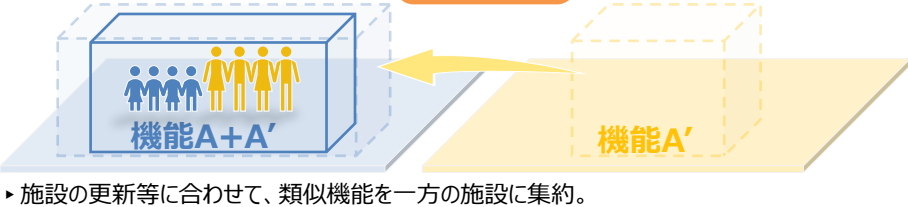
*府中市学校施設改築・長寿命化改修計画等参照 **改築校は和室を新設

定員（☺…26人未満 ☺☺…26-50人 ☺☺☺…51-75人 ☺☺☺☺…76-100人） *●の数…庭球場は面数/他は室数

★…連携手法検討にあたり各校の利用状況を踏まえるべきもの

(2) 取組の大分類

異なる施設間の連携に向け、次のような取組手法が考えられます。

取組手法	期待する効果【○】と想定する課題【×】	
	市民サービス・その他の視点	施設整備の効率化の視点
機能連携  ▶ 類似機能を持つ施設間で、相互に利用、連携する。 例) ・体育館や校庭、特別教室など学校機能を地域開放。 ・地域体育館などの地域対応施設を学校行事で使用。 ・地区図書館での調べ学習を授業の中で実施。等	○ 現状と同等の利用枠の提供が可能。 ○ 同じ時間帯の貸館のうち、一方が混雑し、一方が空いている場合、有効活用が可能。 × 敷地が異なるため、利便性や移動時の安全確保に配慮が必要。	× 建て替え時の初期費用・維持管理費用が各施設に発生する。 × 既存施設の稼働率・定員充足率に課題がある場合、抜本的な改善が難しい。
複合化  ▶ 既存機能を維持したうえで複数施設を複合化し、一方の敷地に建て替え。 施設毎に利用者層が異なる場合もあるが、従前と同様の範囲で機能連携を実施。	○ 現状と同等の利用枠の提供が可能。 ○ 同じ建物のため両機能の相互利用がしやすい。 × 学校との複合化の場合、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要。	○ 個別建て替えと比較して、初期費用・維持管理費用を抑制できる。 ○ 一方の施設跡地を別の目的に活用することが可能。
機能集約  ▶ 施設の更新等に合わせて、類似機能を一方の施設に集約。 既存施設よりコンパクトになるが、利用者ニーズに応じて規模を最適化。従来の各施設の利用者が施設を共用する。	○ 施設の集約により、一体的な施設利用が期待できる。 × 現状と同等の利用枠が提供できない場合がある。 × 異なる利用者層間で利用時間等の調整が必要。	○ 個別建て替え・複合化と比較して、延床面積を最もコンパクトにできるため、初期費用・維持管理費用が抑制できる。 ○ 一方の施設跡地を別の目的に活用することが可能。

(3) 取組のバリエーション

類型	取組内容	期待される効果【○】	想定される課題【×】	留意事項【※】	当該類型に特有の事項【赤字】	他自治体の事例 掲載頁
		市民サービス・その他の視点		施設整備の効率化の視点		

会議室・多目的室等【学校、文化センター、地域体育館】

機能連携	・各施設の会議室等を相互利用	※諸室は開放されており、現状と変わらない。		※諸室は開放されており、現状と変わらない。		
複合化	・施設の複合化により会議室等を相互利用または共用化	○現状と同等の機能提供・運用が可能 ○新たな地域活動の場が増える ○学校施設が地域交流の拠点となる可能性がある ×文化センターまたは地域体育館に学校を複合化する場合、学校教育活動上の必要機能が異なる敷地に設置され、支障が生じる可能性がある ※学校施設の場合、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○個別建替えと比較してコストを抑制できる ○稼働率等、施設の利用効率の向上が期待できる ×敷地上の制約から、想定する規模を確保できない可能性がある		小山小学校 P 7
機能集約	・会議室等を集約・共用化	○学校施設が地域交流の拠点となる可能性がある ×現状と同等のサービス提供・運用が難しくなる可能性がある。 ×文化センターまたは地域体育館に学校を複合化する場合、学校教育活動上の必要機能が異なる敷地に設置され、支障が生じる可能性がある ×異なる利用者層間で利用時間等の調整が必要となる可能性がある ※学校施設の場合、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○稼働率等、施設の利用効率の向上が期待できる ○規模の最適化により、複合化より延床面積を削減できる可能性がある		利賀小学校 P 7 順化小学校 P 8

料理講習室・工作室等【学校、文化センター】

機能連携	・類似機能を相互利用	○現状と同等の機能提供・運用が提供可能 ○現状地域に開放していない諸室を開放することにより、多様な市民活動の提供に寄与する		×現状と変わらない		
複合化	・施設の複合化により類似機能を相互利用または共用化	○現状と同等の機能提供・運用が可能 ○新たな地域活動の場が増える ○学校が地域交流の拠点となる可能性がある ※児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○個別建替えと比較してコストを抑制できる ○稼働率等、施設の利用効率の向上が期待できる ×敷地上の制約から、想定規模を確保できない可能性がある		
機能集約	・類似機能を集約・共用化	○学校が地域交流の拠点となる可能性がある ×現状と同等のサービス提供・運用が難しくなる可能性がある。 ×異なる利用者層間で利用時間等の調整が必要となる可能性がある ※児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○稼働率等、施設の利用効率の向上が期待できる ○規模の最適化により、複合化より延床面積を削減できる可能性がある		利賀小学校 P 7 順化小学校 P 8

類型	取組内容	期待される効果【○】	想定される課題【×】	留意事項【※】	当該類型に特有の事項【赤字】	他自治体の事例 掲載頁
		市民サービス・その他の視点		施設整備の効率化の視点		

図書館【学校、地区図書館】

機能 連携	・地区図書館を学校教育活動で活用	○児童・生徒が多様な図書資料へのアクセスが可能となり、教育的効果が期待できる		×学校図書館は存置のため、現状と大きく変わらない ※児童・生徒の地区図書館までの移動や教員の管理などの負担が増加する	高井戸図書館 P9
	・学校図書館を地域に開放	○地域の読書活動の推進に寄与する		×地区図書館は存置のため、現状と大きく変わらない ※別途運用に係る経費が必要になる可能性あり	川崎市内の一部の小中学校 P9
複合 化	・施設の複合化により図書館機能を共用化	○児童・生徒が多様な図書資料へのアクセスが可能となり、教育的効果が期待できる		○図書資料運搬等の効率化が期待できる ○地区図書館は既に他施設と複合化しているため、規模については現状と大きく変わらない	日野小学校 P10 神田まちかど図書館 P10
機能 集約	・学校施設に地区図書館を集約・共用化	○児童・生徒が豊富な蔵書に触れることが可能となり、教育的効果が期待できる ×児童・生徒が地区図書館を利用することにより、市民利用が制限される可能性がある		○図書資料の運搬や職員配置等の効率化が期待できる ○規模の最適化により、複合化より延床面積を削減できる可能性がある	志木小学校 P10

体育館【学校、地域体育館】

機能 連携	・地域体育館を学校行事で使用 または学校体育館を地域に開放	×学校体育館は既に地域開放しているため、現状と大きく変わらない		×現状と変わらない	
複合 化	・施設の複合化により、相互利用または共用化（分割利用を想定）	○現状と同等の機能提供・運用が可能 ○双方の体育館の面を一括利用することで、多様なイベントに対応できるなど、利便性の向上が期待できる ※利用動線を区別するなど、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○個別建替えと比較してコストを抑制できる ×敷地上の制約から、想定する規模を確保できない可能性がある	八千代市総合生涯学習プラザ P11
機能 集約	・学校体育館に地域体育館を集約・共用化（分割利用を想定）	×現状と同等のサービス提供・運用が難しくなる可能性がある ×異なる利用者層間で利用時間等の調整が必要となる可能性がある ※利用動線を区別するなど、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		○規模の最適化により、複合化より延床面積を削減できる可能性がある	かほく市立宇ノ気体育館 P11

類型	取組内容	期待される効果【○】	想定される課題【×】	留意事項【※】	当該類型に特有の事項【赤字】	他自治体の事例 掲載頁
		市民サービス・その他の視点		施設整備の効率化の視点		

庭球場【学校、庭球場】

機能 連携	・庭球場を学校行事で使用または 学校テニスコートを地域に開放	○学校テニスコートを利用していない時間帯を開放することにより、スポーツの 推進に寄与する		×現状と変わらない		牛久市立ひたち野うしく中学校 P12 大府市立大府北中学校 P12
複合 化	・施設の複合化により、相互利用 または共用化（分割利用を想 定）	○現状と同等の機能提供・運用が可能 ○一括利用で多様なイベントに対応できるなど、利便性の向上が期待できる ※利用動線を区別するなど、児童・生徒のセキュリティ確保に配慮が必要		×個別整備と比較してもコスト抑制は期待できない ×敷敷地上の制約から、想定する規模を確保できない可 能性がある		
機能 集約	・庭球場と学校テニスコートをいず れか一方に集約・共用化（分割 利用を想定）	×現状と同等のサービス提供・運用が難しくなる可能性がある ×異なる利用者層間で利用時間等の調整が必要となる可能性がある		○規模の最適化により、複合化より延床面積を削減できる 可能性がある		

児童館・学童クラブ【文化センター、学童クラブ】

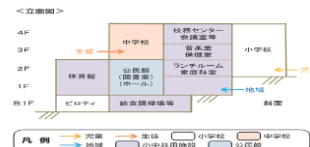
機能 連携	・専門諸室を相互利用	×異なるサービスを同時に運営するため、管理が複雑化する		○人員配置の点で融通が可能となるなど効率化が期待で きる。抑制は期待できない		
複合 化	・施設の複合化により、専門諸室 を相互利用または共用化	○一つの施設で児童館と学童クラブの両方のサービスを提供することで、保護 者や児童にとって利便性の向上が期待できる ×異なるサービスを運営するため、エリアを分けるなどの対応が必要		○人員配置の点で融通が可能となるなど効率化が期待で きる		昌平小学校 P13 緑が丘児童館 P13 資生館小学校 P14
機能 集約	・専用諸室の設置が必要のため不 可					

2. 事例

(1) 文化センター

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
✓ 全体的に、日中の稼働が高く、夜間は低い傾向。講堂や会議室の稼働は、概ね 60%～70%であるのに対し、料理講習室、談話室、ホール等は 20%以下と低い状況。 ✓ 定員充足率は概ね 50%と、定員に対する利用者は半分程度。 ✓ 文化センター内には、会議室と講堂など、似通った機能が複数含まれる。諸室の貸出枠に対する利用状況（稼働率）、諸室の定員に対する利用者の割合（定員充足率）には余裕がある。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
▶ 近隣にある他施設との共用や、利用者数に応じて諸室の大きさを変更できるようにすることで、施設を無駄なく、効率的に活用することが期待できる。 ▶ 学校の会議室、家庭科室、図工室など他施設と類似する機能について、開放の可能性が考えられる。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
福祉会館を廃止し小学校内に機能を移転 複合化		
施設名	流山市立小山小学校（千葉県）	
概要	▶ 小学校の建替えに伴い、福祉会館を新校舎に集約。 ▶ 福祉会館機能としての集会だけでなく、児童クラブ等も併設。 ▶ 高齢者と児童の交流が生まれ、集会施設の稼働率が上昇	
		
		
出所：内閣府資料※1、流山市立小山小学校 HP		
小中学校と公民館で学校機能を共用 機能集約		
施設名	南砺市立利賀小学校・南砺市立利賀中学校（富山県）	
概要	▶ 小学校の統合、中学校の改築に合わせて、公民館も一体的に整備。 ▶ 小中学校共用の家庭科室や和室を公民館と同じフロアとすることで地域住民の利用も促進。 ▶ 公民館図書館は、児童生徒の授業で活用するだけでなく、放課後子ども教室としても活用。	
		
		
学校開放等の受付も行う公民館受付		放課後子供教室にも活用される公民館図書室
出所：文部科学省資料※2		

施設名 福井市立順化小学校（福井県）

- 概要
- ▶ 小学校の長寿命化改修に合わせて、公民館を移転。
 - ▶ 1階に公民館を配置し、会議室や調理室は学校と公民館で共用。
 - ▶ 児童の安全確保のために防犯カメラを増設するなどの防犯対策を講じる。



区分	部室名	複合化前		複合化後	
		室数	面積	室数	面積
学校	普通教室、特支学級	8室	約4,630㎡	7室	約3,600㎡
	特別教室	10室		10室	
	管理室	4室		4室	
	児童クラブ	2室		2室	
	余暇教室	6室		—	
公民館			0㎡	7室	約1,030㎡



出所：文部科学省資料※³

(2) 地区図書館

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
✓ 各図書館は、冊・点数の多い所で約 12 万冊、少ない所で約 5 万冊となる。 ✓ 「府中市文化センターのあり方に関する基本方針（令和 5 年度）」等では、市民意識調査、利用者アンケート等の結果から、身近にある図書館は、書籍や雑誌の充実よりも学習・読書のできるスペースや静かな空間・話すことができる空間、貸出・返却の窓口に期待されているとしている。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
▶ 近隣にある他施設との共用や、利用者数に応じて諸室の大きさを変更できるようにすることで、施設を無駄なく、効率的に活用することが期待できる。 ▶ 地区図書館と学校図書館は、類似する機能であることから、いずれかの施設に機能を集約したり、貸出窓口や書庫、学習・読書ができるスペースなどの機能分担することが考えられる。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
地区図書館と学校図書館の連携		
機能連携		
施設名	高井戸図書館（東京都）	
概要	▶ 高井戸図書館の 2 階と高井戸中学校の図書室は扉一枚隔てて行き来が可能。 ▶ 夏休み等の期間限定で一般利用者にも中学校の図書室を開放。	
 		出所：杉並区立図書館 HP
学校図書館を一般開放		
機能連携		
施設名	川崎市内の一部の小中学校（神奈川県）	
概要	▶ 各学校で利用可能日時を設けて、市民に学校図書館（図書室）を開放し、図書の閲覧・貸出サービスを実施。 ▶ 図書室内の机を学習スペースとして活用することも可能。	
 		出所：川崎市 HP

学校で区立図書館の図書を貸出可能

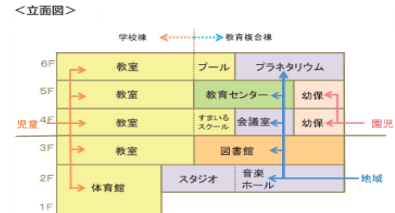
複合化

施設名 品川区第一日野小学校（東京都）

- 概要
- ▶ 小学校の改築に合わせ、敷地内にあった既存の教育総合会館（図書館、教育センター）を改修・増築。
 - ▶ 学校図書館で区立図書館の資料も貸出しが可能。
 - ▶ 学校図書館と区立図書館は、安全性を確保する観点から別々で施錠管理している。



小学校の図書室に設けられた幼児用の読書スペース



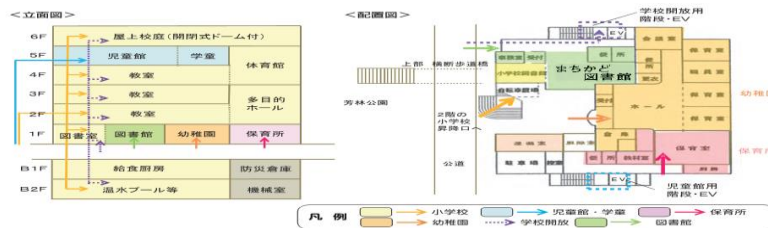
出所：文部科学省資料※2

区立図書館に学校図書館を設置

複合化

施設名 神田まちかど図書館（東京都）

- 概要
- ▶ 学校の改築と併せて地域に必要な図書館、児童館等を複合化。
 - ▶ 1階に区立図書館と学校図書室を一体的に整備しており、児童は休み時間等に図書館を使うことができる。
 - ▶ 区立図書館の司書が、週3回、学校を訪れて読み聞かせなどを行っている。



区立図書館と一体的に整備された学校図書室

出所：文部科学省資料※2

社会教育施設（図書館・公民館）と小学校を統合

機能集約

施設名 志木市立志木小学校（埼玉県）

- 概要
- ▶ 図書館・公民館の老朽化等に伴い、小学校との学社融合施設として整備。
 - ▶ 棟や入口は違うが明確な区分はほとんどなく、図書館・音楽室・ホール等は学校も市民も利用可能。
 - ▶ 資料が豊富な公共図書館を学校の教育活動でも利用。



小学校のテラスと図書館の入口が近接する2階には警備員が常駐



公民館の入口にある受付で利用者を確認



出所：文部科学省資料※2

(3) 地域体育館

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
✓ 会議室の稼働は 60%～70%と比較的高い。 （※体育室は、団体利用と一般開放の配分は運営協議会で調整していることから、他施設の稼働率と比較することは難しい。）		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
▶ 近隣にある他施設との共用や、利用者数に応じて諸室の大きさを変更できるようにすることで、施設を無駄なく、効率的に活用することが期待できる。 ▶ 学校の体育館や校庭と比較して稼働の低い武道場については、機能が類似する他施設のニーズも踏まえ、機能更新のタイミングで機能を最適化し、他施設との連携の可能性を探る。 ▶ 学校の会議室、家庭科室、図工室など他施設と類似する機能について、開放の可能性が考えられる。		

課題・特徴

検討の方向性（案）

取組のバリエーション

生涯学習施設と小学校で体育館を共用

複合化

施設名 八千代市総合生涯学習プラザ（千葉県）

概要

- ▶ 地域コミュニティの核とするため、生涯学習施設と小学校を合築して整備。
- ▶ 生涯学習施設と小学校で体育館、プール、パソコン室、音楽室等を共用。
- ▶ 生涯学習施設と小学校でゾーンを区分し、施錠扉を設置。

八千代市立萱田南小学校

ホーム 学校紹介 行事予定 アクセス 子供たちの活動

共有施設案内（八千代市総合生涯学習プラザ）

（図説・施設図） 施設案内（八千代市総合生涯学習プラザ）

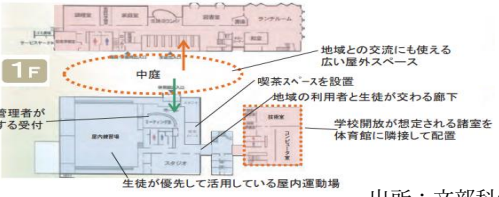
「八千代市総合生涯学習プラザ」と共有の施設紹介です。

体育館（アリーナ）

出所：八千代市資料※4、八千代市立萱田南小学校 HP

社会体育館を中学校と共用

機能集約

施設名	かほく市立宇ノ気体育館（石川県）	
概要	▶ 中学校の改築に合わせて、社会体育館を整備し、学校と地域住民が利用。 ▶ 社会体育館は、指定管理者制度により総合型地域スポーツクラブが運営。学校の部活動や体育の授業に事業者から人材が派遣され、学校教育を支援。	
		
	出所：文部科学省資料※2	

(4) 庭球場

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
✓ ナイターの稼働は 80% 近く、日中は 90% 程度と稼働が高い傾向。		

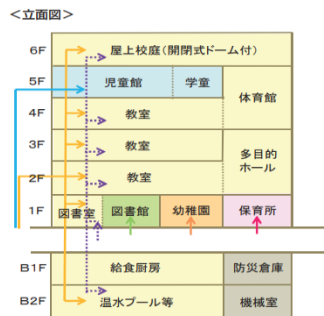
課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
▶ 中学校 8 校にはテニスコートがあり、開放の可能性を検討することができる。 ▶ 庭球場の稼働は高いことから、集約する場合は、利用ニーズに対応する面数を確保する必要がある。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
中学校テニスコートの一般開放 機能連携		
施設名	牛久市立ひたち野うしく中学校（茨城県）	
概要	▶ 団体登録者に対し、テニスコートを開放。 ▶ 午前 9 時から正午まで利用可能。学校の休業日は使用不可。	
		
	出所：牛久市 HP	
施設名	大府市立大府北中学校（愛知県）	
概要	▶ 団体登録者に対し、テニスコートを開放。 ▶ 土曜・日曜・祝日のうち、生徒が学校行事等で使用しない日を開放（主な開放日は、土曜・日曜午後となる予定）。	
	出所：大府市 HP	

(5) 学童クラブ

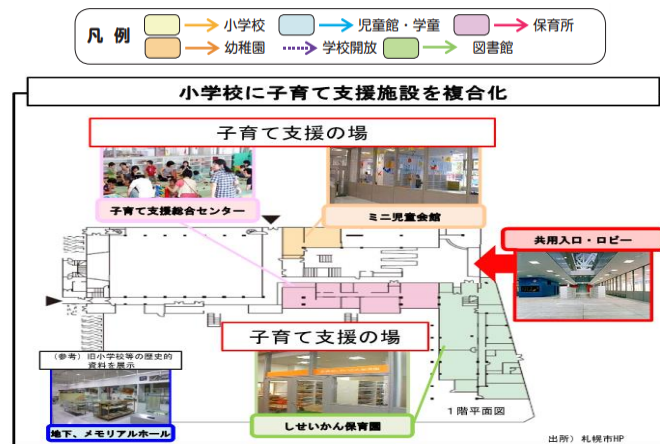
課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
✓ 定員充足率が 100% 超の学童クラブが多い。 ✓ 学童クラブ及び放課後子ども教室については、一部の学校を除き学校敷地内で運営されている。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
▶ 近隣にある他施設との共用や、利用者数に応じて諸室の大きさを変更できるようにすることで、施設を無駄なく、効率的に活用することが期待できる。 ▶ 学童クラブの活動スペースが不足する場合、他施設を活用することが考えられる。		

課題・特徴	検討の方向性（案）	取組のバリエーション
学校と子育て機能等を複合化		
施設名	千代田区立昌平小学校（東京都）	
概要	▶ 学校の改築と併せて地域に必要な図書館、児童館等を複合化。 ▶ 特別教室、多目的ホール、屋内プールは地域開放を行っている。 ▶ 地域住民が使いやすいよう多目的ホールや特別教室を 2 階に配置。 ▶ 5 階には児童館が整備されており、学童保育は最大午後 7 時まで延長保育を行っている。	
		<立面図> 
凡例 小学校 児童館・学童 保育所 幼稚園 学校開放 図書館		
出所：文部科学省資料※2		
児童館に放課後児童クラブを併設		
施設名	目黒区立緑が丘児童館（東京都）	
概要	▶ 児童館に学童クラブを併設しており、児童館内の各諸室（図書館、遊戯室等）を活用して、放課後の時間を過ごすことができる。 ▶ 児童館と併設されており、幅広い年代の児童との交流が可能。	
		 
出所：目黒区 HP、こども家庭庁資料※5		

施設名 札幌市立資生館小学校（北海道）

- 概要
- ▶ 児童数の少なくなった4つの小学校を統合。併せて、保育園、子育て総合支援センター、ミニ児童会館を複合化し、都心部子ども関連複合施設として整備。
 - ▶ 共用ロビーを設け、園児や児童、保護者など自然な世代交流を生み出す。
 - ▶ ミニ児童会館では、午後7時まで放課後児童クラブを開設（市内にある児童会館でも同様に開設）。



出所：株式会社日本政策投資銀行※6

【出所】

- ※1 内閣府「政策課題分析シリーズ9 公共施設等の集約・複合化による経済・財政効果について－集約・複合化の実例を用いた試算－」平成28年。
- ※2 文部科学省「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」平成27年。
- ※3 文部科学省「学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム」。
- ※4 八千代市「（仮称）八千代市立萱田小学校分離新設校及び総合生涯学習施設整備・運営事業 PFI 事業 事後総括評価報告書」令和5年。
- ※5 こども家庭庁「児童館ガイドラインに基づく児童館実践事例集」令和2年。
- ※6 株式会社日本政策投資銀行「公共施設に関する住民意識調査（平成26年度版）」。

3. 検討にあたり配慮すべき事項

(1) 各施設の更新のスケジュール

文化センターおよび学校は、老朽化への対応の観点から、更新の目安を設定しています。

① 文化センターの整備スケジュール

「府中市文化センターのあり方に関する基本方針」（令和5年1月）では、文化センターの老朽化対策を着実かつ計画的に進めるため、施設に係る中長期的なスケジュールや費用を示すとともに、機能や運営方法など、文化センターのあり方に係る基本的な考え方を定めています。

年度(西暦)	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
年度(令和)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
第1グループ (中央、白糸台、 西府、武蔵台、 是政)			ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事															
					ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事													
							ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事											
									ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事									
											ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事							
第2グループ (新町、住吉、 紅葉丘)													ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事					
															ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事			
																	ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	改築 工事	改築 工事	
長寿命化 改修 グループ	四谷	ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	大規模 改修											中規模 改修						
	片町	ワーク シヨップ	基本 設計	実施 設計	大規模 改修																	
	押立											中規模 改修										

② 学校の整備スケジュール

「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」（令和2年2月）では、2年ごとに2校のペースで学校施設の整備を進めていく場合の整備スケジュールを設定しています。

年度(西暦)	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
年度(令和)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
計画	策定					見直し																				
早期改築着手校 (八小・一中)	基本 設計	実施 設計	工事																							
	基本 設計	実施 設計	工事																							
次期実施校 (三小・六小)			基本 設計	実施 設計	工事																					
			基本 設計	実施 設計	工事																					
第1グループ					基本 設計	実施 設計	工事																			
					基本 設計	実施 設計	工事																			
							基本 設計	実施 設計	工事																	
							基本 設計	実施 設計	工事																	
									基本 設計	実施 設計	工事															
									基本 設計	実施 設計	工事															
										基本 設計	実施 設計	工事														
										基本 設計	実施 設計	工事														
小学校 (四小・五小・七小・ 九小・武蔵台小・ 矢崎小)																										
中学校 (二小・六中)																										

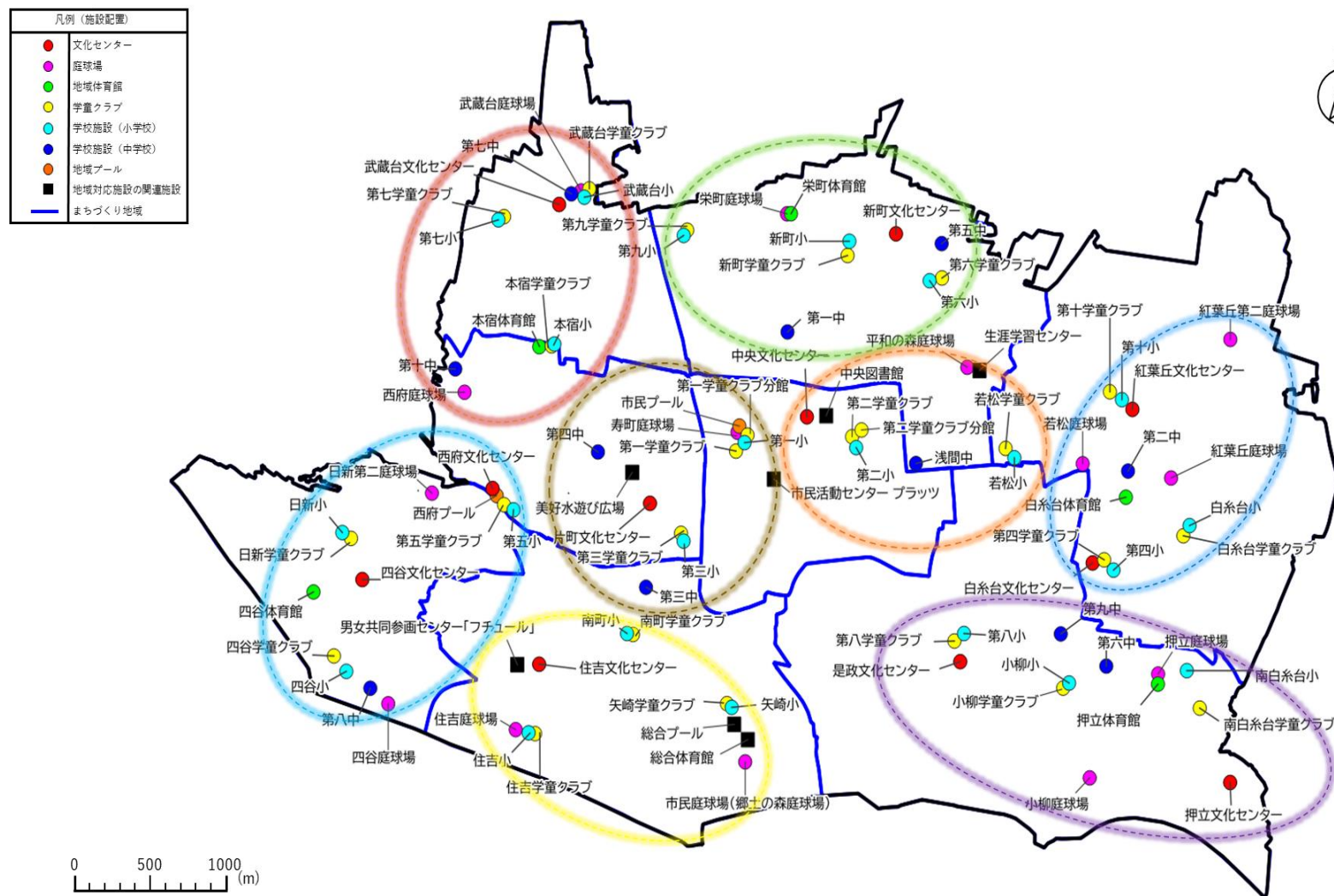
（２）対応を検討する対象施設のグルーピング（案）

モデル事業６で対象とする地域対応施設は、日常生活圏内での市民利用を想定している施設であることから、機能連携や複合化は、一定範囲のエリアの中で検討します。

このことから、「府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）」における地域別まちづくり方針の地域区分や、各施設に係る個別の検討状況を勘案し、連携の可能性がある施設同士をグルーピングすることで、機能連携や複合化の検討を進めることとします。

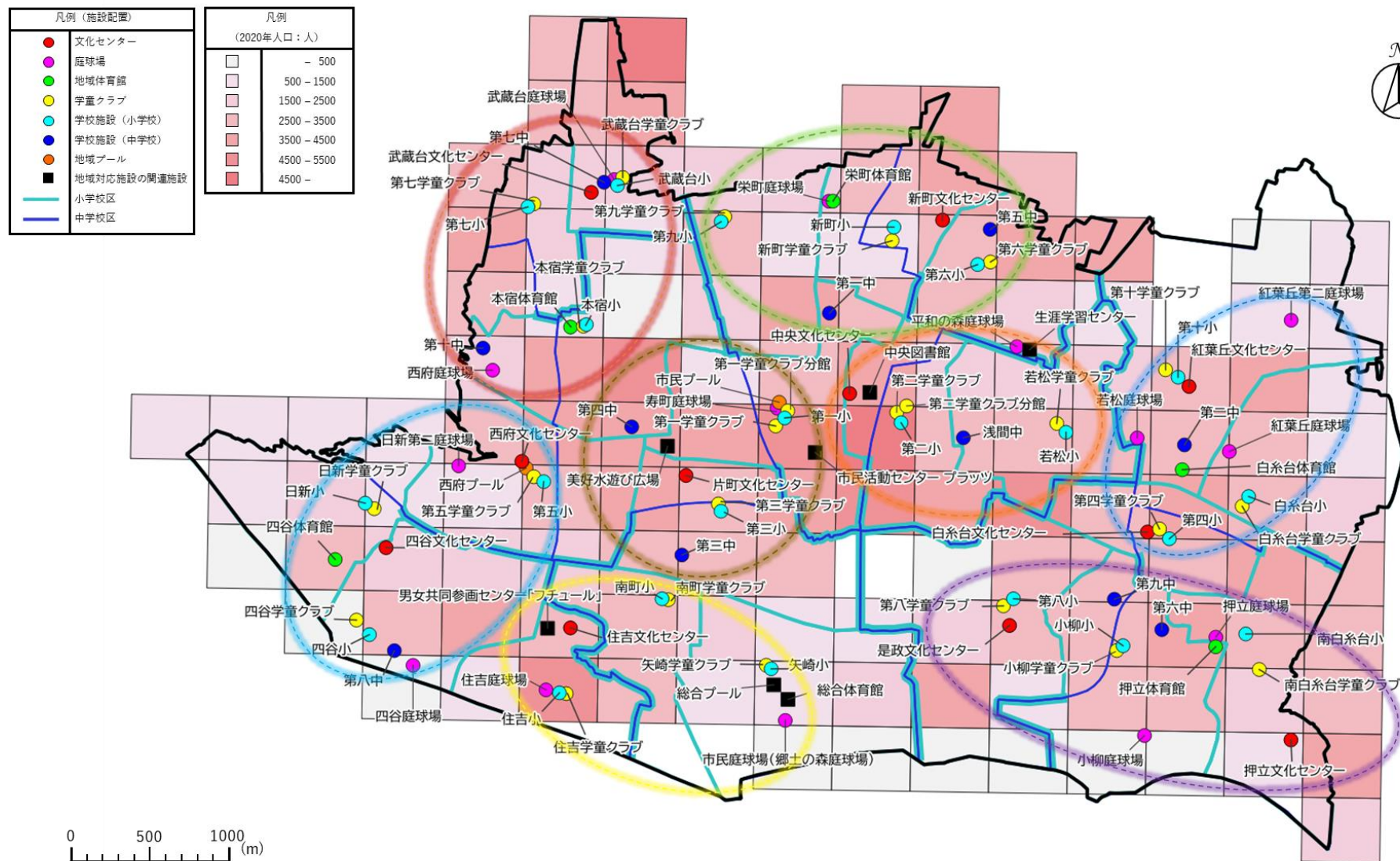
グルーピングのイメージ

地域に必要な機能を最適に配置するとの観点から、個別施設ではなく、一定エリアの範囲で、複数施設を対象として、機能連携と複合化を検討することが求められます。機能連携と複合化を検討する施設群として、対象施設の立地状況等に基づき、次のようなグルーピングが考えられます。



グルーピングのイメージと人口規模

上記のグルーピングに市内の2020年の人口規模を重ね合わせると次のようになります。グルーピングごとに人口規模を加味して、今後のあり方を考えていく必要があります。

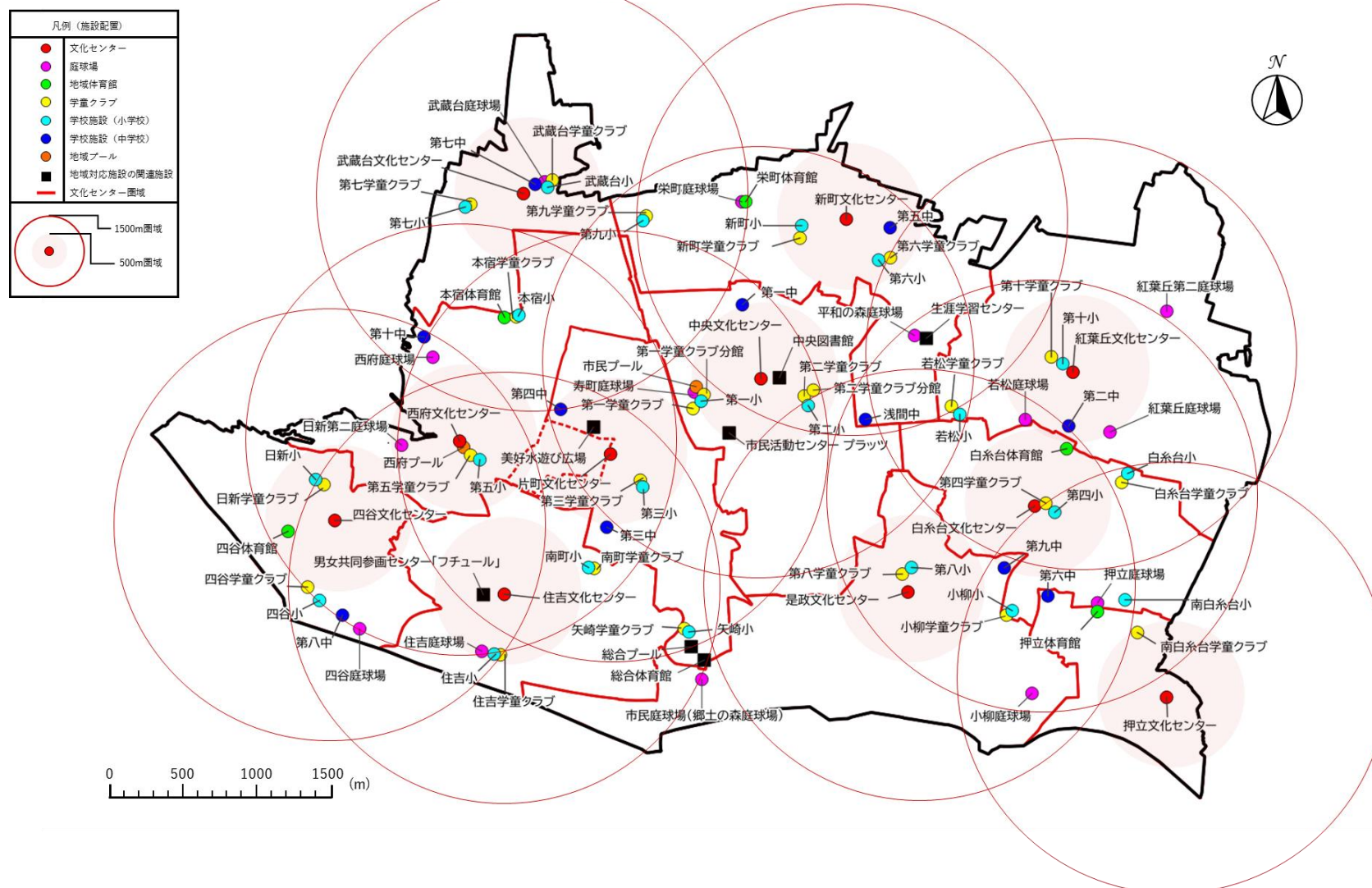


※メッシュがない空白の地域については、都立多磨霊園、都立武蔵野公園、都立野川公園、多摩川河川敷、東京競馬場等を含み、居住人口のデータが存在しない。

【参考資料】文化センターの配置状況（文化センター圏域）

文化センターの圏域は2kmと設定されています。

文化センターを中心として同心円をプロットすると、文化センターは、ほぼすべてのエリアから半径 1.5km の範囲に立地していることがわかります。



【参考資料】文化センターの配置状況（小中学校区）

文化センターを中心として同心円をプロットすると、文化センターは、ほぼすべてのエリアから半径 1.5km の範囲に立地していることがわかります。文化センターから半径 1.5km の範囲に小中学区が一通り含まれています。

